

論理的思考力の育成を目的とした質の高い言語活動と主体的・対話的で深い学びを実現するための研究開発

県立倉敷古城池高等学校

1 はじめに

本校は、21クラスに約840名の生徒が在籍する普通科高校です。平成28・29年の2年間、教育課程研究校に指定されたのをきっかけに、現在は同事業を継承・発展させ、論理的思考力と主体的・対話的で深い学びの研究開発に取り組んでいます。その取組例として、令和4・5年に外国語科が実施したプロジェクト型学習を紹介します。

2 取組の概要

(1) 調査・研究活動

プロジェクト型学習では、教科書の題材から各生徒がテーマを選択し、その選択に基づいてグループ編成をします。各グループは、調査・研究をし、教科書の内容を深化・発展させてクラス全体に向けて発表をします。自分の最も興味・関心があるテーマを選択しているため、プレ

ゼンターはこだわりをもって調べ学習をして、リスナーを楽しませる発表をしてくれました。自己選択による調査・研究は、主体性を高め、深い学びを実現するのに効果的であると感じています。

(2) 指導と評価の一体化

プロジェクト型学習はパフォーマンステストを兼ねています。継続的に実施し、毎回、プレゼンテーションを軸に発表内容に関連した言語活動を実施する形態は維持しつつ、段階的に高度な内容を求めました。最終回では、プレゼンターには論理性を重視して、リスナーには聞いた内容を要約して、自分の考え等を表現するライティング活動を課しました。指導者の提示した評価規準に基づく目標をほとんどの生徒が達成することができ、指導者と生徒が目標を共有し、適切なプロセスを経る

ことで、高い目標でも達成できることを実感しました。

Working can make people's smile.
One example is Japanese policemen. When they use guns, they use very carefully, and trying hard to protect people's lives. Another example is teacher. Their jobs has many things to do, but they want to make their students smile. The last example is chef. They want everyone smile by eating the dishes they made.
Many people working to make people happy.
I will make people happy by painting pictures, and drawing characters. I want people get energy from my artworks.

ライティング（要約と自分の考え等）例

(3) 1人1台端末の活用

授業では、グループ協議の時間を最大限に確保しました。生徒はグループで共有しているドキュメントやスライドをもとに、発表をよりよくするための話し合いを活発に行っていました。また、文法や発音の確認等、個人学習が可能なものは、アプリ

等を紹介して家庭学習で対応できるようにしました。1人1台端末の活用によって、協働的学習、個別学習ともに効果・効率を高めることができました。



グループ活動の様子

3 おわりに

プロジェクト型学習をおし、生徒が主体性や協働性を高めるとともに、学習内容を自分や社会と結びつけて考えるようになってきたと感じています。生徒が人間力を高め、将来社会で活躍できる人材となるよう、今後も研究開発に取り組んでいきたいと思えます。

(指導教諭 竹中 美穂)